

売上高の回復傾向は続くものの、原材料価格の上昇が懸念される

4月の情報連絡員報告によると、前月に続き各項目のDI値は製造業、非製造業とも大きく改善している。製造業では設備操業度と売上高DI値がマイナス桁台となり、景況DI値もマイナス30台まで改善し、非製造業においても景況DI値はマイナス40台にまで改善している。しかしながら製造業のあらゆる業種より、原材料価格が上昇している現状の報告が寄せられており、一時の原材料価格高騰の再来が懸念される。

【製造業63人、非製造業87人、計150人の集計】

各項目のDIの動き (前年同月比)

	全 体	製造業	非製造業
売上高	😊	😊	😊
在庫数量	😞	😞	😊
販売価格	😊	😊	😊
取引条件	😊	😊	😊
収益状況	😊	😊	😊
資金繰り	😊	😊	😊
設備操業度	😊	😊	—
雇用人員	😊	😊	😊
業界の景況	😊	😊	😊

- 😊 …増加、上昇、好転
- 😐 …不変
- 😞 …減少、低下、悪化

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
鉄鋼・金属	建築金物製造業	住宅関連の振興策を望んでいる。
	鍍金加工業	中小・零細企業は緊急融資や雇用調整助成金等を利用することにより昨年度の大不況を乗り切っていたが、この状況では経営の維持は困難である。さらなる景気対策を早急に実施してほしい。
小 売	自動二輪小売業	本年もオートバイのイベントである「チャレンジ三宅島フェスティバル」が開催される。東京都が積極的にバックアップしてくれているが、行政のさらなる業界への支援を期待したい。
サービス	自動車整備業	印紙の額面が、車検等の際の印紙税額に対応されていないため、金額を合わせるため業者は苦心している。印紙の種類を増やすなどの対応を望む。

平成22年
4月

業 界 の 声

製 造 業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	麵製造業	4月は小麦粉価格が落ち着き、麵価も安定している。安売り業者の売り込みもあるが、大勢に変化はない。
	中華麵製造業	原料メーカーからの出荷ロットが大きくなった。少量注文であると配送料が別途負担となってしまっている。
	製粉業	国内産麦の価格決定方式を注視している。食料自給率向上のために小麦の生産を拡大しても、外国産麦より価格が高くては結果的に余剰となる。価格決定のための検討会が開かれているが製粉メーカーを含む需要者団体と生産者団体の意見は平行線をたどっている。
織 維 ・ 同 製 品	ネクタイ製造業	組合の調査によると、平成21年度のネクタイの国内生産と輸入量の合計は平成19年度の82%まで低下している。
	帽子製造業	若い女性の間で麦わらのカンカン帽が流行となっており、組合員は活気だっている。このところファッションシーンで帽子的注目度が高まっている。
	帆布製品製造業	売上、収益とも前年同月比で減少した。また、材料価格の値上げ要請が出ており、近くあらゆる材料の価格が上昇する気配がある。材料費の上昇に合わせて販売価格を値上げした場合、更なる売上の減少が懸念されている。
	洋服製造業	受取加工賃が前年比で1~2割下がっており、1日あたりの売上目標数値に届かない。
	ニット製品製造業	金融機関の貸出しが厳しくなっている模様。平成21年度の組合脱退数は15人であった。
	織物製造業	一部の品目に若干ながら売上の上昇機運があるが、全体としては依然売上は伸び悩んでいる。
木 材 ・ 木 製 品	建具製造業	景況は若干持ち直しの感がある。戸建住宅の着工数も回復傾向にあり、一時よりも仕事量は増えている。しかし、本格的な回復とは言い難い。
	梱包材製造業	チリ地震の影響による入荷不足で木材価格が上昇しており、収益が圧迫されている。
印 刷	印 刷 業	平成21年度に脱退した組合員数は180名。このうち倒産は8社、廃業21社と依然厳しい状況が続いている。
		資材価格の値上がりが見られる。売上状況は落ち着いているが、先行きが不安である。
化 学 ゴ ム	塗料製造業	自動車、機械、金属製品市場向け塗料を中心に需要は回復傾向にある。しかし、原料のナフサ価格が上昇している。
	プラスチック製品製造業	前年同月比では受注量は増加傾向にあるが、本格的回復には程遠い。
	ゴム製品製造業	アジア向け輸出品と自動車関連品が上向いているが、厳しい状況に変わりはない。
窯 業 ・ 土 石 製 品	コンクリート製品製造業	年度始めは従来より発注量は落ち込むが、本年度は特に厳しい状況にある。
		新年度に入り公共事業の発注が減ったことで極めて厳しい状況にある。
鉄 鋼 ・ 金 属	電線製造業	景気の回復が急激なため、材料の調達に支障をきたしている。また、銅価格の乱高下も気になる材料である。
	缶製造業	昨年、一昨年の最悪の落ち込み状況に比べ、徐々に回復している。
	鋳物製造業	新年度に入っても組合員の経営状況は厳しい状況に変わりなく、中堅企業の雇用調整助成金の申請が続いている。
	鍍金加工業	組合員50社抽出による調査結果において、前年比の売上は上昇したものの、一昨年との対比では70%程度となっている。原材料価格の上昇が収益を圧迫しており、安定した経営には程遠い状況である。
	建築金物製造業	住宅関連業界は依然低迷する一方、原材料価格も上昇するなど厳しい状況が続く。
	ダイカスト製品製造業	トヨタ車のリコール問題の影響が現れ始めており、自動車関連の売上が減少している。
一 般 機 械	農業機械製造業	天候不順の影響からか、売上に陰りが見える。
	木工機械製造業	ようやく引合いや見積もり依頼が増えてきた。ただし、購入にまではなかなか至っていない。資金繰りについては依然、銀行借入は困難である。
	写真製版機械製造業	印刷物の数量は増加しているものの、印刷料金は相変わらず伸び悩んでおり、収益の増加に繋がっていないのが現状である。
そ の 他 の 製 造	スポーツ用品製造業	3月末、組合員が企業再生支援機構の支援を受けることとなった。規模が大きく、組合員間の取引も多く、動揺が走ったが、金融機関が債権放棄し、取引等は従来通り行なわれることになり事なきを得た。
	ガス圧接業	受注単価の下落に下げ止まりの気配がない。収益率は極端に悪化している。
	工業塗装業	仕事量に増加傾向が見られるものの、同業者の撤退や人材削減策によるものと思われ、決して状況が好転しているわけではない。年度末にさらに1社の組合脱退の報告があった。

平成22年
4月

業 界 の 声

非 製 造 業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	銅製品卸売業	前年との比較では売上高は上昇したものの、一昨年との比較ではマイナス20%となっている。
	理容用品卸売業	赤字覚悟で取り組んだ理容用品の展示会は若干の剰余金を計上するなど、成功裏に終了できた。運営に携わった組合員の達成感が大きく、新年度も若手を経営者を中心に、継続開催の機運が高まっている。
	化粧品卸売業	組合員の減少が続く。都内全域の組合員から、売上減少が訴えられている。
	電線卸売業	ソーラー発電システム関連など、狭い範囲での荷動きがあるが、全体としては相変わらず低調である。販売価格も銅価の上昇分を反映していない。
	美容用品卸売業	上部団体が主催する展示会が5月に開催されるので非常に期待している。組合には賛助会員が2社加入した。
	鶏卵卸売業	低価格指向により鶏肉・鶏卵の店頭小売に落ち込みはないものの、業務用は相変わらず悪い。それでも僅かながら回復の気配を感じられるようになっている。
	木材卸売業	販売価格については一部外材に強含みの動きがある。
	紙卸売業	4月は回復が期待されたが、製紙メーカーは原材料の高騰により価格引き上げを検討しており、先行きが懸念される。
	玩具卸売業	ゴールデンウィークを前に男児用玩具の売上が伸びており、久方ぶりに期待が持てる商戦となっている。ただし、売れ筋商品の欠品が心配されている。
	再生資源卸売業	組合員の連携意識が希薄になりつつある。連携意識を高める方策を検討している。
	食器卸売業	年度始めの売上を期待したが、全く変化がなかった。
	ニット製品卸売業	販売不振が続き、安値競争も依然続いている。ただし、組合員の減少が止まった感がある。
小 売	鮮魚小売業	温暖化の影響からか、天然ブリがいまだに入荷している。
	木材小売業	セールを行なった前年と比べると売上は減少したものの、市況は少しずつ良くなっている。
	古書籍小売業	組合員数に大きな変動はない。景況は依然として厳しい。
	自動二輪小売業	東京ビッグサイトにて「東京モーターサイクルショー」が開催され、組合も積極的に参画したが、9万人を超える来場者を数えるなど、成功裏に終了した。
	豆腐小売業	平成21年度の組合脱退者は65名であった。今年度中に総組合員数は600名を割ることが予想される。組合への新規加入と脱退組合員の再加入を促進する予定である。
	ペット小売業	鳥獣販売の全国組合は40周年を迎えたが、最盛期2,200名を擁した会員数も現在では約500名にまで減少した。5月には愛鳥週間があるが、売上状況は依然厳しい。
	包装材料小売業	包装材料を生産する大企業の生産量は上向いているが、我々小売業の状況は依然厳しい。化成品の値上げが検討されているが、現在の状況では困難と思われる。
	電器製品小売業	メーカーは液晶テレビの高付加価値化を中心とした、モデルチェンジを進め、売価下落の歯止めを努めているが、商品の入荷が遅延しているため、結果として売上高はダウンしている。
	中古自動車小売業	エコカー減税、補助金制度による先食い需要も一巡し、新車売上台数は減少したが、中古車販売も伸び悩んでいる。
	衣料品小売業	天候の不順から、春物全般の売上が伸び悩んでいる。
	文具小売業	スチール家具類は低調。個人消費はますますであったものの、法人関係は依然活気がない。
	青果小売業	天候不順により青果物価格が高騰しているが、利益を上乗せできない状況にある。野菜の高騰ばかりが報道され客離れに繋がっている。報道には配慮がほしい。
	食品小売業	低価格志向はいまだ続いている。事業者にとっては客数の減少より客単価の減少のほうが影響は大きい。野菜価格の高騰も売上の的にはプラス要因とはならなかった。
	自転車小売業	天候不順等の影響から売上は悪化傾向にある。
	メガネ小売業	価格競争がさらに激化している。組合員店舗の売上げに改善の兆しは見られない。

商店街	目黒	景況感は依然厳しいが、明るい状況も見えつつある。
	秋葉原	寒暖の繰り返しで売り場は夏冬物が混在しており、エアコンの早期取り付けセールと暖房機が同じ売場に並んでいる。3月のエコポイント助成の駆け込み需要の反動で4月の売上は低迷。
サービス	自動車整備業	点検整備が軽視されている状況下で、安全の確保が懸念される。
	クリーニング業	4月は繁忙期であったが寒暖の差が激しく、冬物衣料が手放せない状況になり、クリーニング需要は大きくずれ込んでしまった。本格的に暖くなる5月に期待したい。
	廃棄物処理業	廃棄物排出量の減少により、処理手数料が若干引き下げられている。再生資源市場は値上げの動きがある。
	複写業	3月の年度末は利益を確保することができたが、新年度に入り売上は前年度を大きく下回るスタートとなった。従来は前年度末の仕掛品の作業が見込める月であるが、本年度はそうした状況も見られない。組合員間の格差が増大しており、廃業組合員も増加している。
運送	貨物自動車運送業	多くの組合員がギリ貧の状態の中で、一部の組合員は経営革新を実施し、業績を順調に伸ばしている。荷主の運送業者の選別も厳しく企業間格差が益々拡大している。
	港湾運送業	東京港では平成21年度の国外貿易コンテナの取扱個数が前年に比べ9%減少した。内国貨物も鈍化しており厳しい。設備投資も停滞するなど、我慢のときである。